

令和7年度 伊勢原支援学校 不祥事ゼロプログラム行動計画(検証結果)

県立伊勢原支援学校

	項目	目標	実施結果と目標の達成状況
1	法令遵守意識の向上(法令の遵守(高い倫理観の保持及びわいせつ事案をはじめとする不祥事の根絶)、服務規律の徹底) 【必須】	・公務外非行の防止徹底 ・同僚性の向上と円滑なコミュニケーションができる職場環境の醸成	○職員会議の際に実施した不祥事防止研修会や不祥事防止会議等の機会を通じて法令遵守の意識向上を図ることができた。 ○Teamsのチャット機能等の活用で一人で悩まず、安心して発言でき、語り合え相談しやすい職場環境づくりに取り組むことができた。
2	職場のハラスメント(パワハラ・セクハラ・マタハラ等)の防止【必須】	・パワハラ、セクハラ、マタハラをはじめとするハラスメントの未然防止	○加害者にならないための意識付けを、自己チェックや研修会で取り組み、該当事案が起きることはなかった。 相談しやすい体制については今後も工夫していきたい。
3	児童・生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止 【必須(県立学校)】	・人権侵害行為の未然防止 ・適切な指導の徹底	○不祥事防止研修会による注意喚起や不祥事防止会議での共有、教室の密室化防止の日常的な環境整備、巡視を継続することで、当該事案が起きることはなかった。
4	体罰、不適切な指導の防止【必須(県立学校)】	・児童生徒の人権を尊重した指導の実施 ・児童生徒の実態を的確に捉えた上で、合理的配慮、適切な指導の実施	○「さん」付け呼称や児童・生徒への呼びかけの際の語調について、意識付けを継続的に行い、改善が見られた。 ○アセスメント方法の改善や結果の読み取り方法についての研修会を実施することで、適切な実態把握と指導を進めることができた。
5	入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止 【必須(県立学校)】	・個別教育計画や進路関係資料等の適切な作成・取扱	○校務グループ、学部等での確認や、マニュアルの改善の継続と、鍵付きのキャビネットでの保管を徹底することで事故なく進めることができた。
6	個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	・個人情報に係る事故防止の徹底	○紛失・御廃棄等がないようにダブルチェックや、シュレッダー機に注意喚起を貼る等の工夫で、事故防止の徹底を継続できた。
7	交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	・酒気帯び運転および飲酒運転防止、交通事故防止、交通法規遵守	○啓発資料や自己チェックの実施、スローガンの掲示等で意識向上を目指し大きな事故なく進めることができた。 軽微な交通事故についても速やかな報告、連絡を徹底することができた。
8	財務事務等の適正執行	・公費及び私費会計の適正な執行・管理 ・備品等の適正な管理	○私費会計マニュアルに従った執行を徹底することで、事故なく進めることができた。 ○備品の管理についても棚卸や定期的なチェックで事故なく進めることができた。

○ 令和7年度における不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と今後の課題(学校長意見)

神奈川県教育委員会の令和7年度不祥事防止取組方針に基づき、教育公務員としての自覚と誇りを持ち、高い倫理感の保持・向上を目指して、組織的な取組と啓発を行ってきた。

今年度は新たに、月毎に各項目を各学部等に割振り、項目に応じた不祥事防止に関わるスローガンを検討し、不祥事防止研修会の際に設定の理由を含めたスローガンの発表と、拡大印刷したものを一カ月間、職員室に掲示する取り組みを継続した。

この取り組みによって、これまで受け身で取り組んできた職員も、主体的に不祥事防止について考える機会となり、意識向上の効果に結び付けることができた。

不祥事の発生を引き続き起こさないため、次年度も学校全体での組織的な取組の継続に努めていく。